

誰にも知られぬとき、それは存在である。しかし、これは存在の定義ではない。知られぬものに定義などしようがない。存在とは眞實である。眞實とは何か。存在である。何らの説明もない。知られぬものこそ眞に眞なる實、實在ただけというものの、眞實ということである。事實に定義などあろうか。ただ、現實が在る丈だけである。將に存在ということである。不定義なものに左様な定義などあろうか、又は、なからうか。

論理を牽き破る狂裂、矛盾、理不尽、過度な自由の狂奔。無言の志野焼。

誰も聴かぬ Blues Harp, 誰も観ぬ洞窟壁画、誰も読まぬ小説、誰も知らぬ眞理、誰も解せぬ聖紋、誰も踏み入ることなき神儼なる森奥の聲。

それゆえ、ゴッホやゴーギャンは眞實であつた。

或いはまた、古いにしへの街道にイたたずみ、誰もが見て知るとても、何人にも知られぬ道祖神の石像。

乃ち、いつさいは眞實である。神聖なる眞儼である。狂裂、狂奔裂なる龍ぐもろの若き肯んじである。

風立ちぬ、いざ、生きめやも。世俗にまみれ、とてもかくても生き抜く。